

[ME-01]

JAIA F★★★★

JAIA 4VOC基準適合

セラミックタイル(陶磁器質タイル)・石材用弾力性接着剤
ME-01

官民共同研究品質基準(案)適合品

2液混合形

ME-01は金属・FRP・コンクリート・モルタル下地の屋内外壁面に、セラミックタイル(陶磁器質タイル)や薄物石材を張り付けるのに適した、変成シリコーン樹脂系弾力性接着剤です。



変成シリコーン樹脂系接着剤				
化学反応形無溶剤タイプ				
指定可燃物可燃性固体類				
容 量		包装形態		梱包単位
15kgセット	A剤	5kg	缶	1セット (コテ付)
	B剤	10kg	缶	

用 途

適 用 箇 所		屋外及び屋内の壁面、プール槽内の壁面など
適用下地	内装	コンクリート、モルタル、FRP(防水・成形品)、金属、窯業系サイディング材、けい酸カルシウム板などの各種ボード類
	外装	コンクリート、モルタル、FRP(防水・成形品)、金属、窯業系サイディング材
適用仕上材		・セラミックタイル (陶磁器質タイル) ・薄物石材 (600角以下、厚さ15mm以下)

※空気の対流が少ない箇所(エントランス等の室内)でご使用の場合は、臭気が残る可能性がありますので換気や強制的に送風をして下さい。

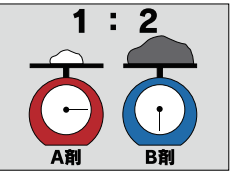
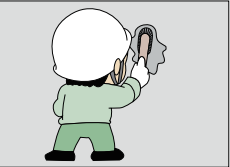
標準使用量	
モルタル・乾式下地	1.5~3.0kg/m ²
	5.0~10.0m ² /15kg
	0.3~0.6m ² /kg

性 質		
	A 剤	B 剤
外 観	白色 マスチック状	濃灰色 マスチック状
主 成 分	エポキシ樹脂	変成シリコーン樹脂
混 合 比	A剤：B剤 = 1：2	
可 使 時 間	40分以内/23℃	
張付け可能時間	60分以内/23℃	
目地詰め可能時間	24時間以上/23℃	

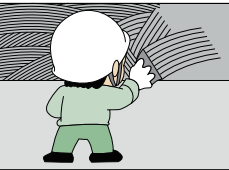
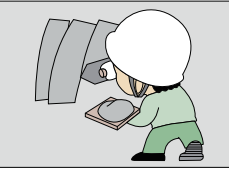
使用方法

- 【下地の確認】
- コンクリート・モルタル下地
下地は平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週間)以上養生し、よく乾燥している事を確認します。
 - ボード類下地
タワミのない厚手の材料を使用し、目違いや目地あきのない下地とします。
- 【下地の清掃】
- 接着不良の原因となるゴミ・ホコリ・油分・レイトンスなどを取り除きます。
- チェック： 接着不良の原因となる可能性がありますので、吸水調整剤などは塗布しないで下さい。

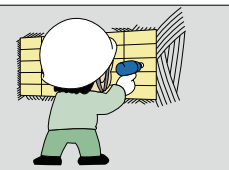
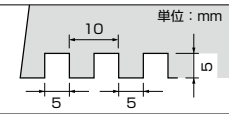
- 【墨出し】
- 割り付け図面に従い墨出しを行います。
- 【接着剤の混ぜ合わせ】
1. 接着剤のA剤とB剤を1：2(重量比)の割合になるように取り出します。
- チェック： ・ 接着剤を取り出す時はA剤とB剤では別々のヘラを使用して下さい。
- ・ B剤は空気中の水分の影響により皮張りを起こしますので、取り出し時以外は蓋をして下さい。
2. 取り出した接着剤を色が均一になるまで、よく混ぜ合わせます。
- チェック： ・ 一度に混ぜ合わせる量は可使時間内に使い切れる量にして下さい。
- ・ 一度混ぜ合わせた接着剤は保管できません。
- ・ A剤とB剤がよく混合されていないと接着不良や石材への汚染の原因となりますので注意して下さい。



- 【接着剤の塗布】
1. 接着剤は平ゴテを用いて下地に押し付けるように均一に塗布します。
- チェック： 一回の塗布面積は張付け可能時間内に仕上げ材を張り終えることのできる面積として下さい。
2. 接着剤を塗布した後、クシ目ゴテ(右図)を用いてクシ目を立てます。
- チェック： 厚塗り・塗布ムラ・薄塗りなどは接着不良の原因となります。



- 【仕上げ材の張り付け】
1. クシ目を立てた後すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。
- チェック： 張付け可能時間は環境により異なります。
2. 仕上げ材はもみ込むようにして張り、裏面全体に接着剤がなじむようにビブラートなどの衝撃機具を使用して十分に圧着します。
3. 仕上げ材を適宜剥がし、仕上げ材裏面に接着剤が充分付着している事を確認します。
- チェック： ・ 接着剤が仕上げ材表面に付着した時は、すぐにシンナーなどを含ませた布で拭き取して下さい。
- ・ 目地直しは接着剤が硬化する前(張り付け後30分以内)に行って下さい。



- 【養 生】
- 接着剤を硬化させるため仕上げ材張り付け後1日以上外力が加わらないように養生します。
- 【目地詰め】
1. 目地詰めを行う前に仕上げ材のズレがなく、また、接着剤が硬化していることを確認します。
2. 目地部に目地材を充てんします。
- チェック： 伸縮目地部や設備機器との取り付け部には、シーリング材を充てんしますのでセメント系目地材を施工しないで下さい。
3. 表面に残った目地材を拭き取ります。
- 【端部の処理】
- 伸縮目地部や設備機器との取り付け部にはシーリング材を設けます。
- チェック： シーリング材が硬化するまでは、ホコリやゴミなどが付着しないようにして下さい。

取り扱い上の注意事項

- ME-01を取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。
- 製品が完全に硬化するまで臭いが残ることがあります。施工中だけでなく、施工後1週間程度空気がこもらない工夫を行って下さい。
 - 指定用途以外に、絶対に使用しないで下さい。
 - 塗装面・ガラス面・浴槽内には使用できません。
 - 品種の異なる製品や溶剤と併用・混合しないで下さい。
 - 一度混ぜ合わせた製品は保管できません。(混合物は容器にもどさないで下さい)
 - 5~35℃の環境で使用・保管して下さい。
 - 取り扱い場所及び作業箇所は換気頻度を多く行って下さい。(施工中は窓を開け、施工後も日中は4~5日間、常に窓を開ける)
 - 可燃性のある成分を含んでいます。使用時・取り扱い場所は火気に注意して下さい。
 - 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
 - 混合物(未硬化物)は皮フに触れたり蒸気を吸入すると健康障害や皮フ障害(カブレ)などを起すことがあります。取り扱い時は保護具を着用して下さい。
 - 一度開缶した製品は、できるだけ早く使い切ってください。
 - 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
 - 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - 使用後や休憩前には、手洗いやウガイ行って下さい。
 - 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
 - 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
 - 誤って飲み込んだ時は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
 - 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
 - 食品用器具、容器などには使用しないで下さい。
 - 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
 - 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
 - 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
 - ME-01をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

- 警告及び注意
- 可燃性あり 有害性あり 皮膚刺激性あり 火気厳禁 吸入注意 接触注意

[ME-03]

JIS A 5548 タイプI F★★★★

JAIA 4VOC基準適合

石材・タイル張り用
弾力性接着剤

ME-03

官民共同研究品質基準(案) 適合品

ME-03は石材及び外装用タイル張り付け施工用として開発された、1液反応形の変成シリコーン・エポキシ樹脂系接着剤です。硬化後はゴム状の弾力性を持つ為、下地の変形や熱膨張などによる応力を緩和します。



変成シリコーン樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物可燃性固体類

容 量	包装形態	梱包単位
320ml / 本	カートリッジ	10 本

標準使用量

ビード塗布(8mmφ)の場合	5～7m / 本
----------------	----------

性 質

外 観	灰色 マスチック状		
主 成 分	変成シリコーン・エポキシ樹脂		
張付け可能時間	5℃	23℃	35℃
	120分以内	90分以内	40分以内

用 途

適用箇所	屋外及び屋内の壁面 (屋外は中低層のRC造り建築物)	
適用下地	内装	モルタル、けい酸カルシウム板、 せっこうボード、フレキシブル板、合板
	外装	コンクリート、モルタル、 押出し成形セメント板
適用タイル	内装	セラミックタイル 〔内装用陶磁器質タイル(厚み13mm)以下〕
	外装	セラミックタイル 〔磁器質タイル、せっき質タイル、 (厚み10mm以下で小口平タイル、 乾式二丁掛けタイル以下)〕
適用石材	天然石材、人造石材 (300mm角 厚み15mm以下) ※せっこうボード、ALC板下地、表面強度の弱い下地には石材を施工できません。	

※空気の対流が少ない箇所(エントランス等の室内)でご使用の場合は、臭気が残る可能性がありますので換気や強制的に送風をして下さい。

使用方法

【下地の調整】

- 1.コンクリート、モルタル下地の場合
下地は、平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週間)以上養生し、よく乾燥していることを確認します。
- 2.下地面及び被着体のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。

チェック：接着不良の原因となる可能性がありますので、吸水調整剤などは塗布しないで下さい。

【接着剤の塗布】

- 1.接着剤は平ゴテを用いて下地に押し付ける様に、均一に塗布します。
 - 2.カートリッジ内部の保護皮膜を完全に破ります。
 - 3.ビード状塗布で施工する場合、ノズル先端を吐出口内径が5mmφ位になるようにカットします。
 - 4.カートリッジガンに装着し接着剤を塗布した後、張付け可能時間内に張り付けます。
- チェック：張付け可能時間は環境により異なります。

【養 生】

施工完了後、接着剤を硬化させるために夏期1日以上、冬期は3日以上外力が加わらないように養生します。

取り扱い上の注意事項

- ME-03を使用する前に下記の項目を守って下さい。
- 接着剤が完全硬化するまで臭いが残ることがあります。施工中だけでなく、施工後1週間程度空気がこもらない工夫を行って下さい。
 - 接着用途以外には、絶対使用しないで下さい。
 - 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
 - 5～35℃の環境下で使用・保管して下さい。
 - 取り扱い場所及び作業場所は換気頻度を多く行って下さい。(施工中は窓を開け、施工後も日中は4～5日間、常に窓を開ける)
 - 可燃性があります。使用時・取り扱い場所は火気に注意して下さい。
 - 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
 - 接着剤は皮フに触れたり蒸気を吸入すると、健康障害や皮フ障害(カブレ)などを起すことがあります。使用時は保護具を着用して下さい。
 - 開封した接着剤は、できるだけ早く使い切って下さい。
 - 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
 - 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイを行って下さい。
 - 使用中に身体に異常を感じた時には、直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
 - 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
 - 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
 - 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
 - 食品用器具、容器などには使用しないで下さい。
 - 誤飲防止と食品への混入を避けるために保管場所は食品と区別して下さい。
 - 使用済み容器などは許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
 - 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
 - ME-03をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

■警告及び注意



可燃性あり 有害性あり 皮膚刺激性あり 火気厳禁 吸入注意 接触注意

【フレックスマルチ】

JIS A 5548 タイプI F★★★★

JIS A 5557

JAIA 4VOC基準適合

Q-CAT Q-CAT型式認定品 C1型

タイル張り用弾力性接着剤
フレックスマルチ

内外装用タイルの張り付け施工用として開発された一液反応形の変成シリコーン・エポキシ樹脂系接着剤です。硬化後はゴム状の弾力性を持つため、下地変形や熱膨張などによる応力を緩和します。セメント目地不要工法としてもご使用頂けます。



変成シリコーン・エポキシ樹脂系接着剤		
化学反応形無溶剤タイプ		
指定可燃物可燃性固体類		
容 量	包装形態	梱包単位
2kg / 本	フィルムパック	9 本

用 途		ml
適 用 箇 所		屋内及び屋外の壁面
適用下地	内装	モルタル、けい酸カルシウム板などのボード類
	外装	コンクリート、モルタル、サイディングボードなどのボード類
適 用 仕 上 げ 材		300角タイル以下、2kg以下／枚 注）内装の場合は施釉タイルに限ります。

※空気の対流が少ない箇所(エントランス等の室内)でご使用の場合は、臭気が残る可能性がありますので換気や強制的に送風をして下さい。

標準使用量		
2.0～2.6kg／m ²	0.3～0.5m ² ／kg	0.7～1.0m ² ／2kg

色 ※ここに示した色見本は現物と多少異なります。



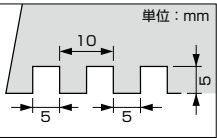
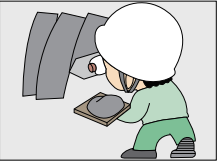
性 質		
外 観	マスチック状	
主 成 分	変成シリコーン・エポキシ樹脂系	
張 付 け 可 能 時 間	5℃	90分以内
	23℃	60分以内
	35℃	30分以内
硬 化 時 間 (目地詰め可能時間)	5℃	3日
	23℃	1日
	35℃	1日

使用方法

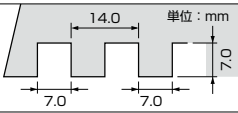
- 【下地の確認】
- コンクリートやモルタル下地の場合
下地は、平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週間)以上養生し、よく乾燥していることを確認します。
 - ボード類下地の場合
タワミのない厚手の合板またはボード類を使用し、目違いや目地あきのない下地とします。

- 【下地の調整及び清掃】
- 1.コンクリート下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、MEベースまたはモルタルで平滑にします。
- チェック：詳細は各下地調整材の使用方法をご確認下さい。
- 2.モルタル下地のもろい部分やレイトンスなど接着阻害となる要因は必ず取り除いてからモルタル又は当社下地調整材で平滑にします。
 - 3.下地面及び被着体のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。
- チェック：接着不良の原因となる可能性がありますので、吸水調整材などは塗布しないで下さい。

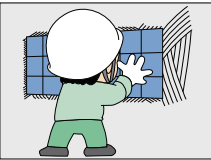
- 【墨出し】
- 割り付け図面に従って墨出しを行います。
- 【接着剤の塗布（クシ目ゴテ使用の場合）】
- 1.接着剤は平ゴテを用いて下地に押し付ける様に、均一に（5～7mm厚）塗布します。
- チェック：1回の塗布面積は張付け可能時間内に仕上げ材を張り終えることのできる面積として下さい。
- 2.接着剤を塗布した後、規定のクシ目ゴテ（右図）でクシ山がかすれないように塗布します。
- チェック：厚塗り、薄塗り、塗布ムラなどは接着不良の原因となりますので注意して下さい。



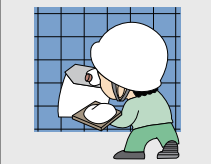
- 3.セメント目地不要工法で施工する場合は、平ゴテでクシ目をならし均一な接着層にします。
- チェック：・事前に試験張りを行い、有効接着面積を確認して下さい。
- ・接着剤が十分に付着しなかった場合は7mm角のクシ目ゴテを使用し、使用量を増やして下さい。
 - ・目地詰め無し施工においてフレックスマルチの塗布厚が極端に薄い場合、露出する接着剤表面が白く変色する可能性がありますのでご注意下さい。



- 【仕上げ材の張り付け】
- 1.クシ目を立てた後すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。
- チェック：張付け可能時間は環境により異なります。
- 2.仕上げ材は揉み込むようにして張り、仕上げ材裏面全体に接着剤がなじむようにビブラートなどで十分に圧着します。
 - 3.約2㎡ごとに仕上げ材を1枚剥がし、仕上げ材裏面に接着剤が充分付着している事を確認します。
- チェック：・仕上げ材表面に付着した接着剤は硬化する前にシンナーなどを含ませた布で拭き取して下さい。
- ・目地直しは接着剤が硬化する前に行って下さい。



- 【養 生】
- 施工完了後、接着剤を硬化させるために夏期は1日以上、冬期は3日以上外力が加わらないように養生します。
- 【目地詰め】
- 1.目地詰めを行う前に仕上げ材のズレがなくまた、接着剤が硬化している事を確認します。
 - 2.目地用ゴムゴテを用いて、目地部にセメント系目地材が完全に充てんされるように塗り込みます。
- チェック：伸縮目地部や設備機器との取り合い部にはシーリング材を充てんしますので、セメント系目地材を塗り込まないで下さい。
- 3.仕上げ材表面に残った目地材はゴムゴテを用いて拭き取った後、湿したスポンジで拭き取ります。
 - 4.目地材が乾燥した後、乾いた布で拭き取り、仕上げます。
- 【端部の処理】
- 伸縮目地部や設備機器との取り合い部には、シーリング材を充てんします。
- チェック：シーリング材が硬化するまでは、ホコリやゴミなどが付着しないようにして下さい。



Q-CAT認定品施工の場合、(一社)全国タイル業協会・全国タイル工業組合発行「外装タイル有機系接着剤張りQ-CAT工事標準仕様書・同解説」を参考として下さい。

取り扱い上の注意事項

- フレックスマルチを使用する前に下記の項目に注意して下さい。
- 製品が完全硬化するまで臭いが残ることがあります。施工中だけでなく、施工後1週間程度空気がこもらない工夫を行って下さい。
 - 指定用途以外に、絶対に使用しないで下さい。
 - 品種の異なる製品や溶剤と併用・混合しないで下さい。
 - 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
 - 取り扱い場所及び作業場所は換気頻度を多く行って下さい。（施工中は窓を開け、施工後も日中は4～5日間、常に窓を開ける）
 - 可燃性があります。使用時・取り扱い場所では火気に注意して下さい。
 - 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
 - 製品は皮フに触れたり蒸気を吸入すると、健康障害や皮フ障害（カブレ）などを起すことがあります。使用時は保護具を着用して下さい。（アレルギー体質の人は特に注意して下さい）
 - 開封した製品は、できるだけ早く使い切して下さい。（数日で硬化します）
 - 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
 - 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - 使用後や休憩前には、手洗いやウガイを行って下さい。
 - 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
 - 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
 - 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
 - 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
 - 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
 - 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
 - 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
 - フレックスマルチをご使用になる前には、商品容器的表示事項をよくお読み下さい。

■警告及び注意



【テラタイト(内外装)】

石材・大形タイル用
粉末接着剤
テラタイト グレー

屋内外用

大形のクシ目ゴテを使用する事で5～15mmの不陸調整を可能にした接着モルタルです。合成樹脂の配合により、通常モルタルやセメントノロに比べ接着強度を飛躍的に向上させました。店舗工事や改装工事など石材や大形タイルの施工に適しています。



既調合セメントモルタル

粉末形

品 名	容 量	包装形態	梱包単位
テラタイト グレー	20kg	セメント袋	1

用 途

適 用 箇 所	屋内の壁面及び床面 屋外の壁面及び床面	
	コンクリート、モルタル	
適 用 仕 上 げ 材	壁	・規格石材 (400角以下、厚み20mm以下) ・セラミックタイル(大形陶磁器質タイル)
	床	・規格石材 (600角以下、厚み20mm以下) ・セラミックタイル(大形陶磁器質タイル)

標準使用量

6～10kg／m ²
0.10～0.16m ² ／kg
2.0～3.3m ² ／20kg (1袋)

性 質

	テラタイト グレー
外 観	灰色 粉末状
主 成 分	ポルトランドセメント
練 り 置 き 時 間	60分以内／23℃
張付け可能時間	15分以内／23℃

標準配合比

	重量比	容積比
粉体	20kg	100
水	4.6kg	32

使用方法

【下地の処理及び準備】

1. 風雨や直射日光の影響を受ける屋外へ施工する場合は、当該部分に適切な養生を行います。
2. 下地表面の豆板やジャンカなどのもろい部分及び汚れは、接着不良の原因となりますので、清掃及び目荒らしを行い、確実に取り除きます。
3. 下地の吸水が激しい場合には、水湿しを行って下さい。

【混練り】

標準配合比に従ってテラタイトに水を徐々に加え適度な軟度に混練りします。

チェック：・1回に混練りする量は、60分以内に使いきれれる量として下さい。
・60分以上経過したものは使用しないで下さい。

【塗 布】

1. 張付けモルタルは必ずしごき塗りをを行います。
2. 左官ゴテで所定の厚みに塗布します。
チェック：不陸調整が必要な場合は7mm以上のくし目ゴテを使用して下さい。
3. 1回当たりの塗布面積は2m²以内として下さい。

【仕上げ材の張り付け】

1. 張付けモルタル塗布後すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。
チェック：張付け可能時間は環境温度により異なりますので、前もって確認して下さい。
2. 張り付けた仕上げ材は、タイル用振動機（ビブラート）や叩き板などを使って十分に圧着します。
3. 時々仕上げ材を剥がし、張付けモルタルの付着状態を確認します。

【目地直し】

目地直しは、仕上げ材張り付け後30分以内に行って下さい。

【清 掃】

張り付けモルタルの硬化を見計らい、仕上げ材が動かなくなった時点で目地さらえ及び仕上げ材の清掃を行います。

【施工後の養生】

施工完了後、3日以上外力が加わらないように養生します。

【目地詰め】

3日以上養生した後、目地詰めを行います。

取り扱い上の注意事項

テラタイトを取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。

- 指定用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる材料と併用・混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取り扱い中は、防塵マスクや保護手袋を着用して下さい。
- 強いアルカリ性ですので、肌荒れやカブレを起こす事があります。直接皮フに触れないようにして下さい。
- 取り扱い場所及び作業箇所は換気をよくして下さい。また、施工後も数日間は充分な自然換気を行なって下さい。
- 湿気を避け水濡れがないようにして、乾燥した場所に保管して下さい。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、必ず手洗いやウガイをして下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時には、直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った場合には、直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた場合は、速やかに洗い落として下さい。
- 使用後や休憩前には、必ず手洗いやウガイを行って下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流入させないで下さい。
- テラタイトをご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

■警告及び注意



接触注意

【スーパーウレタック】

JIS A 5536 F★★★★★

JAIA 4VOC基準適合

ビニル床材用 スーパーウレタック

軟質塩ビシートや人工芝などを施工するのに適しています。多少湿気のある床や開放廊下にも施工できるウレタン樹脂系の耐水形接着剤です。



ウレタン樹脂系接着剤		
化学反応形溶剤タイプ		
危険物第四類第一石油類 危険等級Ⅱ		
容 量	包装形態	梱包単位
16kg	缶	1（コテ付）

用 途	
適 用 箇 所	屋外及び屋内の床面
適 用 下 地	コンクリート、モルタル、木質系
適用仕上げ材	・コンポジションビニル床タイル ・複層ビニル床タイル （ホモジニアスビニル床タイル） ・複層ビニル床シート ・人工芝

- 選択上の注意事項
- ・スーパーウレタックは指定用途の組み合わせ以外には使用しないで下さい。
 - ・接着施工する前に、床材の欠損や反りのある物は使用しないで下さい。

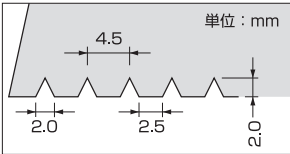
標準使用量	
300~400g /m ²	2.5~3.3m ² /kg

性 質		
外 観	灰色 粘稠液	
主 成 分	ウレタン樹脂	
	待ち時間	張付け可能時間
5℃	20~30分	60分以内
23℃	10~20分	50分以内
35℃	約10分	40分以内

- 使用方法
- 【下地の確認】
- モルタル下地の場合
下地は、平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間（冬期は4週間）以上養生し、よく乾燥していることを確認します。
 - ボード類下地の場合
タワミのない厚手の材料を使用し、目違いや目地あきのない下地とします。
- 【下地の調整及び清掃】
- 1.モルタル下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材（リフロアーFなど）で平滑にします。
 - 2.モルタル下地のもろい部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材（リフロアーFなど）で平滑に仕上げます。
 - 3.下地面及び床材のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。
 - 4.下地に浮き水がある場合は拭き取り、乾燥させます。

【床材の確認】
床材の柄違いを確認し、欠損や反りのある物は取り除きます。

【接着剤の塗布】
規定のクシ目ゴテ（右図）を使用して、塗り溜りができないように接着剤を均一に塗布します。



チェック：・人工芝など裏面の凹凸が大きい材料を施工する場合は、クシ目の高いコテを使用して下さい。
・一回の塗布面積は、張付け可能時間内に張り終える面積として下さい。

【床材の張り付け】
接着剤塗布後、待ち時間を取ります。その後床材を張り始め張付け可能時間以内に張り終えます。ガス膨れが生じた時は千枚通しで丁寧にエア抜きを行います。
チェック：・待ち時間及び張付け可能時間は環境により異なります。
・床材に接着剤がついた場合は、接着剤が硬化する前にウエスで拭き取って下さい。
・床材の張り込みに関しては床材メーカーの「施工要領」「注意事項」に留意して下さい。

【圧 着】
床材の張り付け後、ローラーやハンドローラーなどでよく圧着します。1~2時間後に再度圧着します。
チェック：床材に浮きが認められる時は、接着剤が硬化するまで砂袋などを置いて養生します。

【養 生】
床材張り付け後、接着剤が硬化するまで（夏期24時間以上、冬期48時間以上）養生します。また、養生期間中は歩行や重量物の運搬をしないで下さい。

- 施工上の注意事項
- 開缶時に上澄み液がある場合は、缶内で上下によく混合してからご使用下さい。
 - 容器から出した接着剤を容器に戻さないで下さい。
 - 指定用途以外には、絶対に使用しないで下さい。
 - 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
 - 5~35℃の環境で使用・保管して下さい。
 - 取り扱い場所及び作業場所は、換気を行って下さい。（施工中は窓を開け、施工後も日中は10日間前後、常に窓を開ける）
 - 施工場所により周辺への溶剤臭気の拡散に注意し、必要に応じて周辺住民へ事前に連絡して下さい。
 - 引火性のある成分を含んでいます。使用時・取り扱い場所は火気厳禁とし「火気厳禁」「立ち入り禁止」の表示を行って下さい。
 - 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
 - 使用時には必要に応じて保護具を着用して下さい。
 - 一度開封した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。（数日で硬化します）
 - 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。

- 取り扱い上の注意事項
- スーパーウレタックを取り扱う時は、以下の項目を守って下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイをして下さい。
 - 使用中に身体に異常を感じた時には、直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
 - 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
 - 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
 - 皮フや衣服に付いた時は洗い落して下さい。
 - 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
 - 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
 - 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
 - スーパーウレタックをご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

■警告及び注意

 引火性あり

 有害性あり

 火気厳禁

 吸入注意

[CG-512]

NSK F★★★★

外装用セメント系目地材CG-512

CG-512は仕上がり美しく、作業性に優れたセメント系既調合目地材です。透水抵抗が高く、亀裂や白華現象の心配が少ない目地材です。



白：白色ポルトランドセメント			
灰・濃灰・特濃灰・黒：ポルトランドセメント			
粉末形			
容 量	包装形態	色	梱包単位
25kg	セメント袋	白、灰、濃灰、特濃灰、黒(特注品)	1

用 途	
適 用 箇 所	屋外の壁面及び床面 屋内の壁面及び床面
適 用 タ イ ル	セラミックタイル（陶磁器質タイル）

性 質		
外 観	色	粉末状 白、灰、濃灰、特濃灰、黒(特注品)
	主成分	白色 白色以外
	1回の練り混ぜ量	60分以内(23℃)で使い切れる量

標準使用量（施工可能面積）	
タイルの種類	標準使用量
50角タイル	12～15m ² ／25kg
50二丁タイル	16～19m ² ／25kg
小口平タイル	6～8m ² ／25kg
二丁掛けタイル	8～10m ² ／25kg

※目地巾、目地深さによって異なる場合があります。

使用方法

- 【確認と清掃】
- 1.仕上げタイルが動かないことを確認します。
 - 2.目地充てん部のゴミ、埃、油分など、接着阻害となるものを取り除きます。
- 【混練り】
- 下記混合比にそってCG-512に対し水を徐々に加えよく混練します。
- チェック：・1回の混練り量は、60分以内（23℃）に使い切れる量として下さい。
- ・水の増減により、色の濃淡が生じる場合がありますので水量は一定になるようにして下さい。

混合比(重量比)	CG-512	水
	25kg	5.25～5.75kg

- 【目地詰め】
- 1.施工面に水湿しを行い、目地材を塗布します。
ゴムゴテを用いて目地部が完全に充てんされるように塗り込みます。
- チェック：余分な目地材はできるだけ取り除いて下さい。
- 2.目地ゴテなどで目地押さえを行い、コテムラのないように仕上げます。
- 【清 掃】
- 1.目地材のしまり具合を見計らい、タイル表面を水で湿したスポンジで清掃します。
 - 2.目地材の硬化後、タイル表面に残った汚れを水洗いにて清掃します。
- チェック：酸による化粧洗いはできるだけ避けて下さい。やむをえず酸を用いる時は、目地詰め後1週間以上養生した後、まず水洗いを行い、次いで工業用塩酸を30倍程度の水で希釈した希塩酸を用いて洗います。その後、使用した酸が仕上げ面に残らないように充分な水洗いをして下さい。

取り扱い上の注意事項

- CG-512を使用する時は、下記の項目を守って下さい。
- 目地材用途以外には絶対に使用しないで下さい。
 - 混練時の施工環境や下地の違いなどにより色に濃淡が生じることがありますので、施工箇所にはシート養生を行い、施工条件の統一に配慮して下さい。
 - 品種の異なる目地材との併用・混合はしないで下さい。また、保水材・防凍剤・エマルジョン混和材などの添加は行わないで下さい。
 - 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。（硬化までの凍結に注意して下さい）
 - 保管温度が著しく異なりますと、練り置き時間などが大きく異なったり、物性が低下する恐れがあります。
 - 一度混ぜ合わせたCG-512は保管できません。
 - 使い残したCG-512は、異物の混入や湿気の影響などにより、物性が低下する恐れがありますので、密封して保管するか、出来るだけ早く使いきって下さい。
 - 長期間湿気の高い状態で保管したり、水に濡れたりしますと物性が低下したり、硬化する恐れがあります。
 - 保管される場合は湿気を避け、水に濡れないようにして下さい。
 - 目・鼻・皮フに炎症を起こすことがありますので、使用時は取り扱いに充分注意すると共に、適切な保護具（防塵マスク・保護手袋など）を着用して下さい。
 - 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
 - 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - 使用中に身体に異常を感じた時には直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
 - 目に入った場合には、直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
 - 誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
 - 皮フや衣服に付いた場合は、速やかに洗い落として下さい。
 - 使用後や休憩前には、必ず手洗いやウガイを行って下さい。
 - 誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別して下さい。
 - 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。
 - 河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流入させないで下さい。
 - CG-512をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

警告及び注意



接触注意